

## 令和5年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立 千鳥 小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・タブレットや、具体物や半具体物、図などを多く取り入れたことで学習意欲が高まった。
- ・家庭学習など、計算練習を中心に繰り返し指導を行ったので、計算力が高まった。
- ・学習のまとめにタブレットドリルを活用した。正解するまで間違え直しを根気強くすることで正しく答える力を育めた。

#### (2) 課題

- ・算数で学んだことを他教科で使ったり、日常生活に生かしたりできるよう指導していく。また、日常の出来事を結び付けることで、算数で学習したことが使用できる利便さを実感し、学習する意欲を高める。
- ・目的に応じて多様な表現方法を用いながら、簡潔に表したり考察したりする力を身に付ける。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

※ ◎…目標値を上回った    ○…目標値と同程度    △…目標値を下回った

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	○	/	/
第5学年	◎	◎ (第4学年時)	/
第6学年	◎	◎ (第5学年時)	◎ (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻や時間の概念を、忘れてしまう児童が多い。</li> <li>・かけ算やわり算では、立式がうまくできず、文章に出た順で式を立ててしまう児童がいる。</li> <li>・計算処理速度や正確さにおいては個人差があり、九九がまだ完璧にできない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立式において、問題文をよく読まず、出てくる順番通りに使用する児童がいる。</li> <li>・授業中の考え方を問う場面では、しっかり理由を説明できる児童は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言やノート、タブレットPCなどを活用したことで、意欲的に学習に取り組む児童が多い。</li> <li>・授業の始めに前時までの復習時間を設けたり、家庭学習で、苦手な問題を解いたりしながら、繰り返し指導を行っている。</li> </ul>

##### ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値を上回り、学習の実	・目標値、区・全国の平均正	・目標値、区・全国の平均正

現状は概ね良好であるといえるが、個人差がある。	答率を上回り、学習の実現状況は概ね良好であるといえるが、個人差がある。	答率を上回っている。算数で学ぶ楽しさを引き続き養っていく。
-------------------------	-------------------------------------	-------------------------------

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>算数科で学習する内容の基礎となる概念や性質の理解の基礎となる経験を繰り返し指導する。</li> <li>算数を豊かに学び続ける上で必要となる感覚を育成する。</li> <li>具体物を用いて数の大きさや数のまとまりに着目してその意味や表し方についての経験を積ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方考える力を養う。</li> <li>体験的な学習や、問題を繰り返し取り組ませることで、考えるもとになる素地を養う。</li> <li>数のまとまりや数量の関係に着目して、ブロックや数え棒などの具体物を使い、数の数え方や計算の仕方考えさせる。また、その過程を表現することを重視するとともにそれらを日常生活に生かせるように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数量や図形に親しみ、算数で学んだことの楽しさを感じながら学ぶ態度を養っていき、主体的に算数を学ぶことができるようにする。</li> <li>遊びや生活の中で、一人一人の児童が必要感をもって、数量などへの関心を持ち感覚が磨かれるような体験をしていることなどを踏まえながら指導する。</li> </ul>

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や家庭学習を活用し、繰り返し計算する機会を多く設け、正確性を高める。</li> <li>タブレットによる「たしかめプリント」を円滑に行い、フォローアップや発展問題などを効果的に行っていく。</li> <li>数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形概念、量の概念、棒グラフなどについて理解させ、数量や図形についての感覚を豊かにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力を養う。</li> <li>身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり適切に判断したりする力を養う。</li> <li>数についての感覚を一層豊かにするとともに数の大きさや構造に着目して表し方を考え、日常生活に生かせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りの時間で、今日の学習を多面的に捉え検討させ、より良いものを求めて粘り強く考える態度や、算数のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用できるようにする。</li> <li>算数を学ぶことの価値を実感させ、主体的に算数に関わっていこうという態度を育むために、振り返りの時間や導入を工夫する。</li> </ul>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・授業で習ったことへの理解をより深めるために、授業始めに習ったことの確認する時間を設けたり、補習授業を効果的に活用し、復習したりする時間を設ける。</li><li>・立式することが難しい児童には、問題文の特徴をつかませたり、繰り返し練習したりする時間を設ける。</li><li>・校内正答率が基礎の部分は約7割なのに対し、活用の部分では5割程度に留まっている。その結果から、基礎を使って、練習問題に取り組んだり、まとめの時間に応用の問題に取り組んだりして、基礎から活用に結び付ける練習の時間を設ける。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見出すようにする。</li><li>・目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力を養っていく。</li><li>・数の表現方法を目的に合わせて考察させたり、それらを日常生活に生かせるように支援したりしていく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・数学的に表現・処理したことを振り返らせ、多面的に捉えさせ検討させ、より良いものを求めて粘り強く考える態度や数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用できるようにする。</li></ul>